

サービス学会第6回国内大会

～ 心・人・地域・未来をつなげる価値共創 ～

2018年3月10日(土)～11日(日)

会場：明治大学駿河台キャンパス リバティータワー1階・15階・16階・23階

<マクロ・プログラム>

3月10日(土) 受付開始(1階) 9:30から(15時～18時までは15階で受付)

・全体セッション 1階リバティホール

10:00～11:40 実行委員長挨拶・ディスカッションツール概要案内・パネルセッション

12:35～14:00 サービス学会会長挨拶 経済産業省挨拶 特別講演(第一生命 渡邊会長)

14:00～14:30 出版委員会セッション

・オーラルセッション 15階・16階

	会場1 (1153)	会場2 (1154)	会場3 (1156)	会場4 (1165)	会場5 (1166)
15:00～16:30	サービス品質	製造業のサービス化	サービスデザイン	ビッグデータ活用	OS(サービス生産性)
16:30～18:00	サービス品質	価値共創	サービスエコシステム	OS(観光情報)	

・懇親会(18:15～20:00) 23階 岸本辰雄ホール

3月11日(日) 受付開始(15階 8:30から) ポスターセッション(23階矢代ホール 9:00～15:00)

・オーラルセッション 15階・16階

	会場1 (1153)	会場2 (1154)	会場3 (1156)	会場4 (1165)	会場5 (1166)
9:00～10:30	サービス品質	サービスデザイン	サービス測定	OS(製造業・サービス化)	OS(介護サービス)
10:30～12:00	サービスモデル	サービスデザイン	従業員理解		サービスイノベーション

・全体セッション 1階リバティホール

13:15～15:00 特別講演(Vargo教授) 文部科学省挨拶

・オーラルセッション 15階・16階

	会場1 (1153)	会場2 (1154)	会場3 (1156)	会場5 (1166)
15:10～16:40	サービス測定	製造業のサービス化	サービスイノベーション	OS(サービス学の参照基準)
16:40～18:10	サービス測定	製造業のサービス化	サービスデザイン	

3月10日(土)

・全体セッション 1階リバティホール

10:00 ~10:10 実行委員長挨拶 井上 崇通 (明治大学教授)

10:10 ~11:40

ディスカッションツール概要案内 戸谷 圭子 (明治大学専門職大学院教授)

パネルセッション 高柳 寛樹 (㈱ウェブインパクト代表取締役社長)

三ツ堀 裕太 (㈱ユニキャスト代表取締役社長)

中山 亮太郎 (㈱マクアケ代表取締役社長)

モデレータ 日高 一義 (東京工業大学環境・社会理工学院教授)

(司会 戸谷 圭子 明治大学専門職大学院教授)

昼食・休憩

12:35 ~12:45 サービス学会会長挨拶 山本 昭二 (関西学院大学教授)

12:45 ~13:00 経済産業省ご挨拶

サービス産業の生産性向上について 守山宏道 (経済産業省 サービス政策課長)

(司会:長岡 晴子 日立製作所)

13:00 ~14:00 特別講演

真の価値創造を目指して

渡邊 光一郎 (第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長)

(講師紹介:井上 崇通 明治大学教授)

14:00 ~14:30 出版委員会セッション

(司会:丹野 慎太郎 産業技術総合研究所)

ご案内

・参加者へのお願い

貴重品は各自で管理をお願いいたします。大きな荷物がありましたら受付までお申し付けください。

・会員控室

15階 1155教室となります。

・リフレッシュ・コーナー (コーヒー、紅茶、お菓子など準備しております)

協賛企業ブース (15階 1157・1158) に設置しております。

協賛企業様ブース場所 NEC様 (1157)

ヤマハ発動機様 (1158)

カクタス・コミュニケーションズ様 (受付)

3月10日(土)

15:00 ~ 16:30

会場1 (1153)	会場2 (1154)	会場3 (1156)	会場4 (1165)	会場5 (1166)
サービス品質・顧客満足・ロイヤルティ 座長：山本 昭二	製造業のサービス化/プロダクト・サービス・システム 座長：下村 芳樹	サービスデザイン 座長：長岡 晴子	ビッグデータ活用 座長：渋谷 一夫	OS(サービス産業の生産性向上に向けたOS) 座長：斉藤 敏一
<p>[1-1-01] 効果的な介護支援機器開発のための重要指標の検討 (福田 賢一郎、錦織 浩志、西村 拓一、竹中 毅)</p> <p>[1-1-02] サービス品質の Hygiene Factor と顧客志向に関する考察—インフラ産業の事例 (上田 恭史、日高一義)</p> <p>[1-1-03] 多次元顧客エンゲージメント・モデルの検証—構成要素、先行要因、結果要因の探求— (神田 正樹)</p>	<p>[2-2-01] 製造業者によるレンタル/リース・サービスの事業展開 流通機能に関する販売サービスとの比較を中心に (奥澤 英亮)</p> <p>[2-2-02] Service-oriented firms: The push effect of risks in the supply chain (HUY QUANG TRUONG, Yoshinori Hara)</p> <p>[2-2-03] 放課後等デイサービスにおける送迎車両乗降自動チェック装置の開発 (段野 陽輔、後郷 吉彦、白石 浩一)</p>	<p>[3-3-01] 新しい公共交通システムサービスの社会実装 (松原 仁、中島 秀之、平田 圭二、鈴木 恵二、野田 五十樹、佐野 涉二、金森 亮、松館 涉、落合 純一、田柳 恵美子)</p> <p>[3-3-02] 日本版 MaaS (Mobility as a Service) モデルの社会実装にむけての考察 公共交通機関のシームレスなサービスを目指して (日高 洋祐)</p> <p>[3-3-03] 地域のサービス・エコシステムの形成プロセスに関する S-D ロジック視点による考察 アートプロジェクト事例およびスマートインフラ事例から (中村 孝太郎、坂本 英之、Krizaj Dejan)</p>	<p>[4-4-01] ユーザーを主体とするパーソナルデータを活用したサービスのあり方に関する考察 (多根 悦子)</p> <p>[4-4-02] 急性期病院の手術予定作成における術式指定の自動化の試み (高木 英明、北川 郁代、繁野 麻衣子)</p> <p>[4-4-03] パーソナルデータの管理リスクの可視化を指向する IoT サービス事業の考察 (北村 浩)</p>	<p>[OS1-01] 産業別労働生産性水準の国際比較 (滝澤 美帆、宮川 大介)</p> <p>[OS1-02] サービス産業の生産性をめぐる誤解 (森川 正之)</p> <p>[OS1-03] サービス産業の生産性向上とサービスソロジーへの期待 (阿部 尚行)</p> <p>[OS1-04] 日本の優れたサービス～選ばれ続ける6つのポイント～ (松井 拓己)</p> <p>[OS1-05] サービス生産性に関する新たな測定視点の提案 (戸谷 圭子)</p>

3月10日(土)

16:30 ~ 18:00

会場1 (1153)	会場2 (1154)	会場3 (1156)	会場4 (1165)	会場5 (1166)
サービス品質・顧客満足・ロイヤルティ/サービス経験 座長：酒井 理	価値共創 座長：今村 一真	サービスエコシステム 座長：橋本 雅隆	OS (AI 時代における地域での観光情報サービス開発とその課題) 座長：笠原 秀一	OS(サービス生産性) 座長：斉藤 敏一
[1-5-01] サードパーティ・ロジスティクス (3PL) 研究におけるサービス品質・顧客満足・ロイヤルティに関する一考察 (大下 剛) [1-5-02] サービスの失敗が顧客行動に与える影響—関係性要因の検討 (上元 亘、渡良 兼司)	[2-6-01] チェーンストア型サービス業の価値共創マネジメントに関する一考察 (星田 剛) [2-6-02] ヘルスケアサービスにおける価値共創モデルの再検討 線維筋痛症患者の受療行動からの考察 (山田 研一郎) [2-6-03] システム開発サービスにおける顧客との価値対立を緩和するダイアログモデルの実践 (小川 貴臣、白肌 邦生)	[3-7-01] 地方における地域コミュニティ型ビジネスモデルの特性探索 能美市国造ゆずの実態調査から (増田 央、森 進太郎) [3-7-02] サービス仲介プラットフォームエコシステムにおける利用料設定の研究 (井上 祐樹、竹中 毅、車谷 浩一)	[OS2-01] 観光の個人化と分散化のためのユーザ生成コンテンツの分析 (馬強、Chenyi Zhuang、沈 憶珠、戈敏、孫 俊傑) [OS2-02] 地域におけるスマートツーリズムサービス開発 (笠原 秀一、飯山 将晃、美濃 導彦) [OS2-03] SNS データを活用した訪日外国人の観光情報分析サービスの提供 (加藤 大受、荒木 徹也、廣田 雅春、石川 博) [OS2-04] ソーシャルビッグデータを利用したホットスポットの分析 (廣田 雅春、遠藤 雅樹、加藤 大受、石川 博)	(続き)

・懇親会 (18:15~20:00) 23階 岸本辰雄ホール

司会 菊池 一夫 (明治大学教授)

学長挨拶 土屋 恵一郎 (明治大学学長)

3月11日(日) 受付開始(15階) 8:30から(9時までは1階正面入り口近くの守衛所より「サービス学会参加者」であることを告げて入校してください

9:00 ~ 10:30

会場1 (1153)	会場2 (1154)	会場3 (1156)	会場4 (1165)	会場5 (1166)
サービス品質・顧客満足・ロイヤルティ 座長：藤村 和宏	サービスデザイン 座長：日高 一義	サービス測定 行動観察/サービスモデル 数理的方法 座長：貝原 俊也	OS(製造業のサービス化と標準化) 座長：細野 繁	OS(高齢者、介護スタッフの思いを記録し記憶へと繋ぐシステム) 座長：桑原 教彰
<p>[1-8-01] 顧客満足度の経済的含意:企業レベルパネルデータをを用いた実証分析 (石川 貴幸、枝村 一磨、滝澤 美帆、宮川 大介、宮川 努)</p> <p>[1-8-02] なぜサービスの過剰品質に気づかないのか クリーニング業を例にー (王 志)</p> <p>[1-8-03] 医療サービスにおける自己効力感が健康に関わる行動に与える影響 (森藤 ちひろ)</p>	<p>[2-9-01] サービスデザインの実践:生鮮食料品のスーパーにおけるスマートショッピングの提案 (積田 佑介、小野 敬士、劉 瀾、大久保 友幸、越水 重臣)</p> <p>[2-9-02] サービス学から見た観光プランニングサービスの実践と社会実装 (原 辰徳、倉田 陽平、ホー バック)</p> <p>[2-9-03] サービスビジョン可視化方法の提案 (坂口 和敏)</p>	<p>[3-10-01] 自立支援介護を促進するインセンティブ型報酬制度の研究 (海野 大、シユウフア、堤 崇士、森 剛士)</p> <p>[3-10-03] レベニューマネジメントにおける Littlewood の法則の拡張 (高木 英明)</p> <p>[3-10-02] 顧客に満足をもたらすホテルスタッフの特性の解明 チェックイン業務を題材に (嶋田 敏、星山 英子、原 良憲)</p>	<p>[OS3-01] サービス標準化におけるコンセプトダイアグラム (戸谷 圭子)</p> <p>[OS3-02] ヘルス&ケア サービスの国際標準化 (市川 芳明)</p> <p>[OS3-03] サービスエクセレンスの国際標準化動向 (持丸 正明、戸谷 圭子)</p> <p>[OS3-04] シェアリングエコノミー認証基準の国際標準化~シェアリングエコノミーの現状とその展望・共同規制による認証制度の仕組み (石原 遥平)</p> <p>[OS3-05] ISO 27500、27501におけるサービスの人間中心 (遠藤 維)</p>	<p>[OS4-01] 介護施設環境における居住者の顔追従を目指した屋内飛行船ロボットシステム(シーサモーション ウィーラチャート、桑原 教彰、山下 淳、緒方 大樹、白藤 翔平、太田 順)</p> <p>[OS4-02] 高齢者の思いを記録するデータベース開発 (渡辺 健太郎、三輪 洋靖、西村 悟史、福田 賢一郎、西村 拓一)</p> <p>[OS4-03] Proposal of the strategy dealing with inconsistent utterance by dementia person (Abe Akinori)</p> <p>[OS4-04] 介護施設における記録支援システムのユーザ行動・意識の分析 (杉原 太郎、岡本 康史)</p>

	会場 4 (1165)	会場 5 (1166)
	OS(製造業のサービス化と標準化) 座長：細野 繁	OS(高齢者、介護スタッフの思いを記録し記憶へと繋ぐシステム) 座長：桑原 教彰
	[OS3-06] 小口保冷配送サービスの国際標準化 PAS規格の策定について (高野 茂幸)	[OS4-05] 高齢健常者にももの忘れ対処法を指導するメモリーサポーター育成・認定制度の開始 (安田清、菅野 央倫)
	[OS3-07] 工業標準化法改正とサービス標準化 (矢後 郁美)	[OS4-06] 高齢者、介護スタッフの思いを記録し記憶へと繋ぐシステム (桑原 教彰)
	[OS3-08] サービス標準化のスキーム概説 (水流 聡子)	[OS4-07] 装着型ぬいぐるみロボットのための空気圧アクチュエータアレイによる触覚表現機構 (山添 大丈、米澤 朋子)
	[OS3-09] 総合建設業におけるサービス化～標準化に向けた課題 (小原 好一)	

3月11日(日)

10:30 ~ 12:00

会場1 (1153)	会場2 (1154)	会場3 (1156)	会場4 (1165)	会場5 (1166)
サービスモデル・数 理的方法/サービス 測定・行動観察 座長：水野 誠	サービスデザイン/ グローバルコンテキ スト 座長：原 良憲	従業員理解 座長：嶋田 敏	OS(製造業のサービ ス化と標準化) 座長：細野 繁	サービス・イノベー ション 座長：井上 崇通
[1-11-01]非線形因 子分析モデルの測定 尺度への応用可能性 SERVQUAL 尺度によ る検証 (佐藤 平国) [1-11-02]物理的距 離によるサービス特 性指標の構築 (向井 仁志、西野 成 昭、蔵田 武志、大隈 隆史) [1-11-03]行動計測 に基づくサービス提 供プロセスにおける 待機と余裕の定量測 定に関する一考察 (西田 悠、一刈 良 介、張 慶椿、大隈 隆 史、蔵田 武志、船未 明男、三杉 拓也)	[2-12-01] サービ ス・エンカウンター のプロセス設計 自 動車販売会社のサー ビス・ブループリン ト (浦田 剛) [2-12-02] コーヒ ーによる心・人・地 域・未来をつなげる コンテキストデザイ ン (後藤 裕、廣瀬 元) [2-12-03] テキス トマイニングを用い たコンサルティング サービスの支援手法 (第2報) 実規模問 題への適用 (渡邊 るりこ、藤井 信忠、國領 大介、 貝原 俊也、安部 洋 一、山東 良子)	[3-13-01] 介護者 の思いを汲んだチー ムケアを支援する SNS 情報共有の導入 と検証 (福田 賢一郎、太田 祐一、藤枝 朋子、 西村 拓一) [3-13-02] 人起点 サービス現場の能力 を拡張するサービス インテリジェンスー IoT と機械学習を専 門知識の構造化技術 で融合ー(西村 拓 一)	続き	[5-14-01] 生産財 企業のサービス・イ ノベーション戦略 エフェクチュエーシ ョンと認知科学によ るサービス創造 (藤岡 昌則) [5-14-02] 金融 API 公開が実現する サービスイノベーシ ョン (加藤 綾子) [5-14-03] 自立介 護支援を進めるため の課題の整理と解決 策 (堤 崇士)

・全体セッション 1階リバティホール

13:15 ~ 14:45 特別講演

Stephen L. Vargo (University of Hawaii at Manoa)

(講師紹介 井上 崇通 明治大学教授)

14:45 ~ 15:00 文部科学省挨拶

松永 賢誕 (文部科学省 高等教育局 専門教育課長)

(司会 戸谷 圭子 明治大学専門職大学院教授)

3月11日(日)

15:10 ~ 16:40

会場1 (1153)	会場2 (1154)	会場3 (1155)	会場5 (1166)
<p>サービス測定・行動観察/ 価値共創/サービス経験 座長：渡辺 健太郎</p>	<p>製造業のサービス化 座長：持丸 正明</p>	<p>サービス・イノベーション/業界事例研究 座長：小坂 満隆</p>	<p>OS(サービス学の参照基準) 座長：新井 民夫</p>
<p>[1-15-01] サービスのデジタル化を推進する仲介モデル研究 (渡辺 健太郎)</p> <p>[1-15-02] 価値共創の創造プロセスと価値共創を支える企業システム 星野リゾートを事例として (森 哲男)</p> <p>[1-15-03] 修学旅行における感動体験の分析と考察 (仲條 誠司)</p>	<p>[2-16-01] リゾート施設における低速モビリティの利用調査 (荒木 幸代、渡辺 仁、藤井 北斗、見米 清隆、小林 吉之、丹野 慎太郎、宇佐美 由布子、戸谷 圭子)</p> <p>[2-16-02] 日本企業のサービタイゼーションの障害とサービスパラドックス (戸谷 圭子)</p> <p>[2-16-03] ピポットから捉えるサービタイゼーションの可能性 ピポット(起業時での苦渋の方向転換=事業再定義)からサービス業態へシフトした事例からの考察 (森 一彦)</p>	<p>[3-17-01] 経営をサービスと捉えたクラス別価値創造モデルの醤油産業における事例研究 企業組織の違いがもたらすステークホルダー間の「共創」の可能性の違い (和田 良子)</p> <p>[3-17-02] グローバルIT企業の成長を支える好循環メカニズム—システム思考による構造分析— (中里 成実、神田 陽治、内平 直志)</p> <p>[3-17-03] サービスエコシステムとプラットフォーム理論 SDLに基づくUber, Airbnb 他からの示唆 (高橋 浩)</p>	<p>[OS5-01] サービス学の参照基準制定報告 (新井 民夫)</p> <p>[OS5-02] 「サービス学の参照基準」の目的と概要 (西尾 チヅル)</p> <p>[OS5-03] 千葉商科大学サービス創造学部における教育体系 (吉田 優治)</p> <p>[OS5-04] 京都大学経営管理大学院におけるサービス学教育のカリキュラム開発 文理融合大学院教育の事例とその発展の歴史 (原 良憲)</p> <p>[OS5-05] 経営学系大学院教育におけるサービス学のカリキュラム. 加えて、サービス学会の役割 (山本 昭二)</p>

3月11日(日)

16:40 ~ 18:10

会場1 (1153)	会場2 (1154)	会場3 (1155)
サービス測定・行動観察/サービスエコシステム 座長：山本 吉伸	製造業のサービス化 座長：蒲生 智哉	サービスデザイン/サービスの方法論 座長：村松 潤一
[1-18-01] 電子出版物と印刷出版物に関する消費者行動特性 (秦 洋二) [1-18-02] 「おもてなし」を目指すサービスロボットの実現 (裴 雅超、長井 隆行) [1-18-03] サービスエコシステムと価値共創の関係における理論的考察 (庄司 真人)	[2-19-01] 産業用ロボット/IoT事業のサービス化に向けたアクションリサーチやまがたロボット研究会を事例としてー (青砥 則和) [2-19-02] デイモンドチェーン概念を利用した製造業のサービス化手法の検討 (酒井 理)	[3-20-01] サービス・マーケティングとマーケティングとの関係ー歴史性を基礎としてー (松井 温文) [3-20-02] サービス学の研究領域に関する分類的視点の新展開 (日高 一義、戸谷 圭子、持丸 正明) [3-20-03] サービスビジネスにおける評価情報のプラットフォームに関する基礎的考察 (近藤 朗)

3月11日(日)

ポスターセッション リバティタワー23階 矢代操ホール 9:00~15:00

ディスカッション時間帯(12:10~13:05)

ポスター発表者は、ご自身のポスターの前に待機し、参加者とのディスカッションをお願いします

- [P0-01] サービス価値共創フレームワークとサービソロジー研究
(村上 輝康)
- [P0-02] 製造業のサービス化の特徴を考慮したパフォーマンス評価と阻害要因の分析
(丹野 慎太郎、木見田 康治、戸谷 圭子)
- [P0-03] FRAMによる駐車場誘導業務の安全分析手法の適用
(伊藤 裕亮、西 康晴)
- [P0-04] S-D ロジックに基づく共助サービスのデザイン手法
(ホー バック、原 辰徳、金 圭源、太田 順)
- [P0-05] 社会・技術の変化を捉えたヘルスケアサービスのビジョン作成
(松葉 明日華、古川 あずさ、秋口 万貴子、根本 裕太郎)
- [P0-06] 設計者が予想していなかったサービスにおけるユーザーの行動を捉えるためのフィールドリサーチ
手法の開発
(廣瀬 花衣、水野 大二郎)
- [P0-07] 日本版C C R Cの運営における標準的なデザイン手法の検討
(高橋 伸佳、朴 範玉、寺村 良寛)
- [P0-08] 旅客心理に寄り添う客室乗務員の気づきのスキル習得を促進する学習教材
(立岡 宏治、福島 稜、ホー バック、原 辰徳、太田 順、津坂 有紀、有満 也人)
- [P0-09] 物流サービスにおける顧客特性に着目した顧客参加の先行要因の検討
(村江 優奈、ホー バック、原 辰徳、岡田 幸彦)
- [P0-10] 安全運転教習サービスにおけるU-indexの応用研究
(萩原 拓也、小川 努、岡田 幸彦)
- [P0-11] 企業向けの安全運転研修サービスを対象としたサービス品質の研究
(石井 聡一、小川 努、岡田 幸彦)
- [P0-12] 後付け容易な環境認識型屋内測位ビーコンの棚環境における推定精度比較
(進林 昂太、荒井 大河、青木 拓也、善甫 啓一、岡田 幸彦)
- [P0-13] 感情認識AIを用いた、インサイト調査(インタビュー)の定量化の取り組み
(小川 修平)
- [P0-14] 小売店顧客の購買意欲による動線説明の取組み
(吉澤 貴拓、進林 昂太、善甫 啓一、岡田 幸彦)
- [P0-15] 新サービス普及のためのパーソナリティとコンテキストに基づく行動変容技術
(堀川 健一郎、佐藤 啓太、大木 真吾、垣谷 弥生)
- [P0-16] 病院内搬送業務の分析と自律搬送ロボットの活用による業務改善
(笹井 裕之)
- [P0-17] イベント参加者のためのライドシェアサービスの支払い料金配分設計
(南 翔太、堀川 健一郎、佐藤 啓太、渡辺 英里、吉田 岳人、矢野 正基、繁野 麻衣子)

3月11日(日)

ポスターセッション リバティタワー23階 矢代操ホール 9:00~15:00

ディスカッション時間帯 (12:10~13:05)

- [P0-18] Evidence-based health policy のための課題発見エンジンの研究開発
(佐々木 健佑、穴澤 純也、塚尾 晶子、千々木 祥子、久野 譜也、岡田 幸彦)
- [P0-19] 事例ベース意思決定理論よるサービスの満足の記述と応用に関する検討
(高橋 裕紀、西野 成昭、竹中 毅、石川 竜一郎)
- [P0-20] 環境音分析による音環境理解のサービス応用について
(富田 修一、河本 満)
- [P0-21] 特定キーワードを含むマイクロログデータを対象としたトピックモデリング
(幸島 明男、車谷 浩一)
- [P0-22] ブログ情報を用いたファッションアイテム間の競合関係分析
(東小菌 郁真)
- [P0-23] 交通社会ダイナミックマップの実現に向けた社会実証実験の進化に関する考察
(大野 沙知子、手嶋 茂晴)
- [P0-24] ノルディック学派の研究の進展にみる消費文脈へのインサイト
(今村 一真)
- [P0-25] プラットフォーム型 SNS による共体験がもたらす観光の充実度についての実証研究
(荻野 敦生、窪田 あゆみ、長田 彩乃、永田 健太郎、杉山 歩)
- [P0-26] 店舗販売のR・デザインに向けた購買ジャーニーの計測と表出化
(原 辰徳、川中 孝章、角南 諭史、立岡 宏治、加藤 尚志、丸尾 拓也、小浜 勇人、大岩 将人)
- [P0-27] 観光振興による地域活性化
(林 超)
- [P0-28] サービス概念を適用したビジネスモデルに関する一考察
(清野 聡、大藪 亮、張 婧、佐藤 啓太、村松 潤一)

第6回国内大会(明治大学大会)

大会サイト <https://confit.atlas.jp/sfs06>

サービス学会国内大会 HP <http://ja.serviceology.org/events/domestic2018.html>

後援: 明治大学商学部、明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科、明治大学サービス・マーケティング研究所、明治大学サービスイノベーションセンター、経営関連学会協議会、科学技術振興機構、サービス産業生産性協議会、産業技術総合研究所、社会技術研究開発センター、消費者行動研究学会、人工知能学会、地域デザイン学会、電気学会C部門サービスイノベーション調査専門委員会、日本経営システム学会、日本消費経済学会、日本品質管理学会、日本物流学会、日本貿易学会

協賛: 日本電気株式会社、ヤマハ発動機株式会社、株式会社日立製作所、ミズノ株式会社、カクタス・コミュニケーションズ株式会社、特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構

実行委員会: 井上 崇通(明治大学)、戸谷 圭子(明治大学専門職大学院)、菊池 一夫(明治大学)、下村 芳樹(首都大学東京)、庄司 真人(高千穂大学)、田口 尚史(茨城キリスト教大学)、長岡 晴子(日立製作所)、山本 吉伸(産業技術総合研究所)

丹野 慎太郎(事務担当: 産業技術総合研究所)

<会場案内>



会場：すべてリバティタワーで行われます。

1階リバティホール（統一セッション） 15階・16階（オーラルセッション） 23階（懇親会、ポスター）

昼食：師弟食堂（リバティタワー17階）、カフェパンセ（アカデミーコモン1階）、

サンマルクカフェ（グローバルフロント1階） 3/10土は営業、3/11は休みです。

- ・受付配布のランチマップ（明治大学校友会作成）もご参照ください。
- ・JR 御茶ノ水駅付近、地下鉄新御茶ノ水駅ビルなどに多数の食堂があります。